



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
Dojima Grand Bldg., 1-5-17
Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
PHONE (06)344-1717

NOVEMBER, 1985 IV-5

Y's Men
International
Convention
Aarhus 1986



1985-1986 THEME

- 「Service with Enthusiasm」 — 熱誠もて奉仕を — IP
 「How Young are You?」 — 若がるるワイズ, 湧きおこるY魂 — RD
 「積極的な行動でワイズの輪を広げよう」 DG
 「着こなそう ふだん着のワイズダム」 P

Thought for the Month

May those who sow in tears reap with shouts of joy!

He that goes forth weeping, bearing the seed for sowing, shall come home with shouts of joy, bringing his sheaves with him. (PSALMS 126 :5,6)

涙をもって種まく者は、喜びの声をもって刈り取る。
種を携え、涙を流して出て行く者は、束を携え、喜びの声をあげて帰ってくるであろう。

詩篇第126篇 5, 6節

PROGRAM

—BFの月— 11月例会

DATE: 11月20日(木) 18:30~20:30

PLACE: 大阪YMCA会館 9階

- | | | |
|--------------------------|-----|---------|
| | 司会 | 福永君 |
| 1. 開会 | 会 | 長 |
| 2. ワイズソング | 一 | 同 |
| 3. 聖句朗読 | 藤本君 | |
| 4. ゲスト紹介 | 会 | 長 |
| 5. 食前感謝「日々の糧」 | 一 | 同 |
| 6. 晩さん | | |
| 7. ゲストスピーチ | | |
| 「主婦の目から見た日本とトルコ」 | | 西村メリーさん |
| 8. 誕生日のお祝い | 会 | 長 |
| 9. ニコニコアワー | | ドライバー |
| 10. 役員会, 委員会報告, YMCAニュース | | |
| 11. 閉会 | 会 | 長 |

第2例会 DATE: 11月29日(金) 18:30~20:30
PLACE: YMCA国際社会奉仕センター

DATES for MAKE-UP & FELLOWSHIP



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5 サウス	6 枚方	7	8 長野	9 紀の川
10	11	12 大阪	13 千里 高槻	14 堺 田辺	15	16 奈良
17	18	19 土佐堀 豊中	20 センテナ アル ①	21 河内 和歌山	22 泉北	23
24	25	26	27 チュロ コンサート	28	29 センテナ アル ②	30

例会日時, 会場の詳細は名簿参照, 尚変更, 食事の準備への配慮から各自で必ず事前に連絡のこと, (当クラブ内の事前申告も必ず随行)

例会当番 藤本, 河野, 柴田, 福永, 鈴木, 阪田
〈少なくとも30分前に来て, 会場準備して下さい〉

EMPHASIS THIS MONTH

BFの月
(会員全員の協力)

Statistics (統計)

10月例会出席状況 (在籍会員35名)	ニコニコ 献金	B F ポイント	ファン ド
メ ン 21名	10月	10月	10月末累計
出席率 60%	20,140円	切手 3,377.7p	152,653円
メネット 3名		現金 200p	
コメント 0名	累計	累計 切手	
ウィンター& ゲスト 7名	67,520円	10,241.7p	
計 31名		現金 3,461p	

今月の聖句によせて

農夫は苛酷な天候や風土の中でも、それらと闘いながら苦労を重ねて土地を耕し種を蒔き、収穫のときがくれば豊かに稔った穀物を刈り取り、今までの数々の労苦に耐え抜いた大いなる喜びを噛みしめ、神の恵みに感謝を捧げるのです。

11月は収穫感謝の月。農夫ならぬ私達も日々の糧を

備えて下さる神に感謝の祈りを捧げると共に、信仰生活のなかで苦しみに勝ち抜いた時に与えられる大きな神の恵みの収穫を覚えて、主の御名を讃美したいものです。

福永嘉彦

K. SUZUKI SPEAKS:

ワイズメンの顔は角顔（BF顔）？

鈴木謙介

毎日のように聞こえていた「まいどおやかましくてあいすみません……」という古紙あつめの人の声がドル下落、円上昇で商売にならなくなったのはお気の毒なこと。BF委員の皆本、多田、鈴木から「まいどおやかま……」「古切手をお出し下さい」とうるさく申し上げてすみませんが、11月はBF強調の月、どうぞ1枚でも多く例会ごとにお出し下さるようお願いいたします。成るべく記念切手を。そして水洗いしてノリをとったものを。我々に例会でお渡し下さい。ご欠席の方は郵送されても結構です。

質問Ⅰ. 何故そんなに切手切手というのか。古紙屋のようにうるさいよ。

答えⅠ. うるさくてごめん下さい。世界全体のワイズがBF（ブラザーフッドファンド）で作る金は1年10万ドル以上（キャッシュポイントも入れて）にもなって、世界のワイズメンの交流のため大会出席不可能のクラブの代表の旅費、BF代表への補助（今夏来訪のグスタフソン夫妻の様な）又、国際大会に際してのYEEF卒業生のあつまるコンボケーションの費用、国際役員の旅費などにも用いられます。又、成績の良い区に対する返戻金制度もあり、突発惨事（バングラディッシュの洪水のための見舞金）などに用いたりしました。我々のさし出す古切手の1枚1枚がチリも積って10万ドルものお金になります。BFはワイズの歴史の中でも一番古い、ワイズらしい事業の一つです。答えが長すぎてごめんなさい。

質問Ⅱ. よくわかった。それでは我がセンテニアルはどうなっているのか。

答えⅡ. よく聞いて下さいました。チャーター3年にしてやっと理解が大いに進みました。最近毎月の例会に、古切手持参者がうんとふえてきましたし、枚数も大いにふえましたが、他の新しいクラブに比べても今一步というところ。昨年度はやっとのことで、ゴールを達成（1人3,000ポイント、お金なら3,000円）して伊東大会で達成賞

をもらってきました。11月ブルティンに今年の累計が出ています。毎月どんどんふやしていきたいものです。古切手を持ってこれないか、忘れられた人はキャッシュで、いくらでも100円でも1,000円でもご随意にお入れになって下さい。

質問Ⅲ. BFについての何かエピソードを聞きたい。

答えⅢ. はい、待ってました。むかし国際書記会をした有名なグライムス（マサチューセッツ州ローレンス）のニックネームがビショップだった。それで初めはビショップファンドと呼んでいた。BFの略よみは同じこと。この古切手あつめは戦後日本が国際協会に復帰してから、ブームを呼び、当時の不用品や廃棄物を活用する風潮に合い、又、貧しい日本に出来る良い事だったので各クラブともセッセと古切手をあつめた。日本区はこのところずっとBFでは世界で最高成績を挙げて表彰が連続しています。若しも団体のバレンタイン賞の様なものがあれば、日本は一度栄誉をうけてもよい程です。これらの成績の挙げたのは、日本のワイズの熱心さと精励さによるものです。

むかし京都の或るワイズは、日本区のBF主任でしたが古い土蔵の中が古切手で身動きできぬ程に埋まり、家族全員やクラブ員が整理をした。このワイズは体験を語り、「ワイズはBFで人の顔が四角に見えるまでにならぬと本物でない」といったことがある。又他のワイズは「ワイズとはBFである」といった。米国あたりにもこういうワイズが大勢いて帽子に古切手をきれいにハリつけてかぶって古切手あつめを宣伝したりしていた。この人は一昨年日本にやってきたバイク君で昨年BF功労者でバレンタイン賞を受賞した。とにかく古切手のことを念頭の中に入れぬワイズはワイズではないと勇敢なことを申し上げてお答えに答えて終りとさせて頂きます。まいどおやかましいBF古切手屋より。

Y'S MENETTES & Y'S LINGS (メネットとコメット)

人・妻・母

メネット 藤井 栄子

人生と言う一方通行の道を歩きはじめて、42年、一生懸命と言うにはあまりにも実感がありません。立ち止まる事はあっても、振りかえらずにきたように思います。今何かを書く事において、一度振り返って考えてみたいと思います。この42年間、私のためだけに生きたと言う思いは、たった半年間だけでした。それは母がなくなり、結婚までの半年です。その期間は本当に私のためだけに考え、行動してきました。母一人、子一人の生活だったため、病弱な母が、私だけを生きがいとして必死に働い

ていたので、私の背中にはいつも母のおもみがあり、私のためと言うよりは、母のため、母に心配をかけないようにと言う思いでいっぱいでした。ですから、母が亡くなった2、3日は虚脱感、虚無感があり、私のこの世に存在する事すら無意味に思われたものです。そして、半年後に主人と結婚し、主人との生活のため、又子供が生まれると、子供のためと、私の人生感もじょじょに変わってきました。今又、子供も、中2、小6と大きくなり、子供から、学ぶ事、考えさせられる事が多くなり、私の人生も、しっかり自分の目で見つめなければならない時期にきているように思います。私が、主人により、子供により、又多くの交わる人々によって生かされている自分を感じる日々、私だけの心の宝を今、一生懸命創っている時間です。 10月28日

HAPPY BIRTHDAY

November の誕生石

11月生まれの人の誕生石は topaz (黄玉) であり、faithfulness (忠実) を意味する。

黒田 巖之君	12・2 (1922)
堀 利満君	12・2 (1942)
杉本恭之助君	12・6 (1925)
上月 英子姉	12・13
瀬戸 慶子メネット	12・15
阪田 一夫君	12・20 (1916)
中村 隆幸君	12・36 (1942)

November の花



11月の花は chrysanthemum (菊) である。そのうち白は truth (真理) を、赤は I love (私は愛する)、黄は dejection (落胆) の意味をもつ。

COMINGS & GOINGS

杉本泰之助君 MET委員長である同君は、毎月の例会プログラムの活性化を図るため、例会のはじめに全員で「歌の練習」(カラオケではなさそう)を考えており、目下、正司姉と歌唱指導の中で話し合いをすすめているそうです。乞う御期待。

河野 正義君 ご母堂が10月20日ご逝去されました。謹んでおこやみ申し上げます。



NEWS IN BRIEF

●10月16日(水) 第1例会

世戸俊男氏(YMCA 体育研究所主任主事)によるスピーチ「ウェルネス - 守りから攻めへの健康」について熱心に聴いた。

健康は熟年だけに関心度も高く、当日は多くのお客様を迎えた。

WELCOME!

Guests & Visitors

河内クラブ	土佐堀クラブ
白石定一君	今村一之君 (A・P)
吉川佳幸君	
丹波兆広君	掛江康一君
増石広之君	(鈴木謙介君の紹介 2回出席いただきました)

◆11月例会ゲストスピーカーのプロフィール

西村メリー氏

- イスタンブール大学文学部歴史学科卒業、主としてトルコを取巻く世界史を専攻
- 来日して2年半
- 1985年 国際教育振興会主催 NHK後援 第26回 外国人による日本語弁論大会で「国際人そして日本」をテーマで発表、見事グランプリ第一位を獲得した。その模様はNHKテレビを通じて全国に放映され、ピリッとエスプリのきいた内容で好評を拍し、一躍有名になった。(自宅) 〒572 寝屋川市木田町12~20 木田ハイツ308 電話 (0720) 22-1316 番



THE CENTENNIAL

IBC PACIFIC RIM

BAUHNIA

NUUANU

CENTENNIAL

A LETTER FROM NUUANU, HAWAII —ブラザー・クラブの近況—

ヌアヌ・クラブのメンバー、LARRY HIRANAKA氏の奥さん、MAEさんから便りがありました。その中で、クラブの活動について触れている部分を抜粋して、お伝えしましょう。ここで言及されているPACIFIC CONVO-CATIONとは来年夏ハワイで行われるハワイのYMCAとワイズメン主催の「青年集会」のことです。日本のことでもあります。日本の青年達にも招待が来ています。(谷川)

* * *

Larry's Y's Men's Club just had their big money-making project a month ago where they sold barbequed chicken halves--- over 6,000--which they barbequed. The members get-together at 5:00 a.m. on Sunday morning and cook until noon. The sale starts from 9:00 to 2:00. The tickets are mostly presold so they know about how many to buy and cook. We also sold sushi, too. About 300 of them and this proceeds went to the Nuuanu YMCA Youth Leadership program. We had lots of help this year because many of the future youth leaders came out to help. It was so nice seeing the young teenagers working with us oldtimers. We hope that they will one day become Y's Men, too.

Last Sunday evening Allan Chow got married to Andrea Yanagihara. Alan is the Metro District Chairman for all of the Oahu Y's Men's Clubs. It was a Chinese dinner and he had over 400 guests. We had a nice time.

Oh by the way, the Nuuanu Y's Men's club will induct two new members soon. One will be Mrs. Julie Shimoni&hi. Her husband Maurice is already a member. They will be the second husband and wife member of the club. The other person who will join is Phyllis Sakane's boyfriend.

Yesterday Larry went to a YMCA--Y'sMen conference at Camp Erdman. All of the Y'sMen's region officers and committee members and the YMCA leaders got together to discuss a partnership type of conference where they shared ideas. They also discussed the upcoming Pacific Convocation for next summer.

We hope that one of your sons will be coming to the convocation. We think that the teenagers who attend the convocations really profit from this experience. The Nuuanu Y is really working to have their youths who are in their teens to become future leaders by having the junior leadership program. During high school many of them become leaders for the summer fun program. In Hawaii because so many mothers work, the summer fun program at the YMCAs are very popular.

Again thank you so much for your gifts. My parents send their ALOHA and thank you, too.

Aloha,

Mae and Larry

「ボヒニア (BAUHINIA) からの便り」

新しく私たちのブラザー・クラブになった香港ボヒニア・クラブ (BAUHINIA) を12月末訪問し、ブラザークラブの締結書を交換する予定でした。ボヒニア・クラブ会長 WINNIE LUNG さんから谷川君宛便りあり、年末は会長をはじめ多くのメンバーが、クリスマスで不在となるため

3月のFUND-RASING BALL (資金集め舞会) に是非出席してほしいとの希望です。詳しい日時は後日連絡することです。

是非、予定して、香港訪問を実現しましょう。

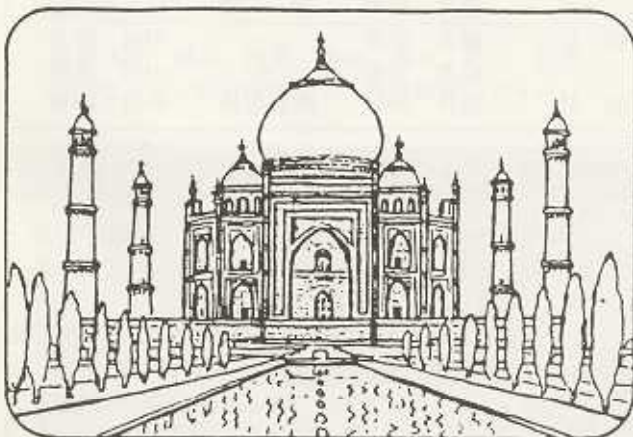
ニコニコ・フリーコメント (10月例会)

- 白石 定一 (河内クラブ) 先日の10周年記念祝会には多数御出席ありがとうございました。例会に3回も出席させていたまきますとセンチナルのメンバーになった様な親しみを感じます。
- 黒田 巖之 メネット 胸部骨折入院どうやら退院して自宅療養中、次第によくなってきた内祝 ¥1,000
- 田中穰二・豊子 今日が結婚記念日でした。
- 増石 広之 本日は、良い例会を見せて頂きました。河内クラブからのお礼と思って来ましたが、すっかり楽しませて頂きありがとうございました。
- 丹波 兆弘 (河内ワイズC) 10周年と言う記念事業を無事なし得たこの大きな喜びは何にもかえがたし。御参加下さいました皆様へ心から御礼申し上げます。
- 堀 利満 堺高速の渋滞にぶつかりまして遅刻のお詫びに (おかげで阪神戦が楽しめました。)
- 吉川 佳幸 (河内Y'S) 寄せて戴きました。河内Y'S 10周年御声援有難う御座居ました。
- 藤井 保男 バッチを忘れました。
- 谷川 寛 YMC A国際奉仕委員会とからあいましたが、なんとか例会にすべりこみ出来ました。
- 山村 幸明 当月例会も遅刻しました。まったく落第生です。誠に申し訳ありません。
- 山田 孝彦 永い間ご心配をおかけしましたが、メネット

- が本日退院いたしました。皆様のあたたかい励ましとお見舞いに感謝のほかありません。
- 杉本恭之助 ウェルネス強調月間にメネットが足の小指を骨折しました。ふだん、あまり家庭生活に骨を折っているようには思えないのに、まあしかし、この程度の怪我で済んだ訳ですから感謝です。小生はウェルネスQにAを出したらウン十才代との答、快なるかなノ です。
- 河野 正義 ウェルネスのお話、大変有意義でした。万歩計を購入して1カ月使用しましたが、又、復活したい気分になりました。
- 掛江 康一 今日は楽しい時を過ごさせていただきました。今後ともよろしく願ひいたします。
- 柴田 健 過日は家内と河内クラブへ行かせて頂き本日は河内ワイズより多数おこし頂き感謝。日々健康であることに感謝します。
- 中川徹太郎 気分すっきりしました。ストレッチこれからも時折やってみます。
- 鈴木謙介・美藤 友人掛江康一兄を会員候補に案内できたこと。
- 福永 嘉紀 "Wellness" 本当によい機会を有難うございます。大いにストレッチ運動を頑張るために。
- 多田 幸子 先月は休みました。ゴメンナサイ。

TOPICS IN FOCUS

インドのコチンシティにあるエルナクラム・クラブからIBC締結の提案があり10月23日㈫の役員会で承認を得たので、11月第1例会で全員に披露する予定です。



PICK UP 北から南から

一分読書

金持に頭を下げるな

富子 勝久

ある村の大金持が、自分に頭を下げない者が一人いたのに対し

「貴様おれの金持を知らぬか」

「知っているけれど、別におれにくれるわけでないから、頭を下げぬ」

「そんなら、財産の半分をやればどうだ」

「半分もらえば対等だから、頭を下げるに及ばぬ」

「それでは全部やるからどうだ」

「そうすればお前が頭を下げるがよい」

これは今から半世紀も以前の「浮世哲学」という本にある一節です。お金がそんなに貴いものでしょうかという問題を提起しています。

私は半世紀にわたって、家に残存する徳川大阪町人の古文書を調べ続けていますが、窮局の財産は「人格」であり「人柄」であり、「信用」であることが、今になってやっと理解できるようになりました。言いかえると、自己中心を捨てて、いつも他人へ奉仕し続け、結局は絶対他者、「神さま」への帰依にあるのだと考えるようになりました。

(東京武蔵野 プレティン 9月号)

CALENDAR OF EVENTS

- 田中稔二さんを励ます会
11月18日(月) 18:00～
大阪クリスチャンセンターで大阪クラブと合同
- チェロ室内楽の夕べ
11月27日(木)
大阪YMCA会館 2Fホール
- 国際ファミリークリスマス
12月13日(日)
YMCA国際社会奉仕センター
- センチナル
土佐堀 } 3クラブ合同クリスマスパーティ
サウス } (第1例会兼ねる。第2例会は12月25日)
12月15日(月) 15:00～
大阪YMCA会館 2Fホール
- 中西部新年合同例会
1月11日(出) 東洋ホテル
時間未定

YMCA TODAY

■YMCAラジオ放送開始

10月から朝日放送9時35分にダイヤルをあわせて下さい。
“ヤングフォーラム・ザYMCA”が聞かれます。若者向けの番組ですが、健康講座、国際情報や、ミニ英語レッスンなど楽しく、役に立つ話でいっぱいです。

■11月は世界YM・YW合同祈禱週です。

— おさそい —

今年のテーマは“真理はあなたを自由にする。”

大阪YWCA文化センター、奉仕センター主催で11月11日(月)午後6時半より、大阪YMCA会館で開催します。

松岡慶一牧師(大阪聖ヨハネ教会)のお話や、YMCAの方々のすばらしい手料理をいただきながら交流の場をもちます。

■チェロと室内楽の夕べ

11月27日(木) 6時半 開演

ポーランド出身のチェリスト、セシリア・バルチック女史とテレマン管弦楽団(指揮 延原武春)とのジョイントコンサートです。

ぜひ多くの方々にご案内ください。

Bulletin Board

B F 委員会から

10月の切手持参者は次の通り(敬称略)

福永、田中、黒田、横山、河野、多田、山中、鈴木、堀、森、杉本、山村、谷川の13名でした。

一層のご協力を期待します。

風響樹

CENTENNIAL EYE

再会

村田 貞夫

あれこれ理由があって、こゝ数年北海道へ帰省を重ねるたび毎に、ふるさとの消息が点から線へ、線から面へと拡がり、五十路に近い私には、思わぬ懐しさを体験している。

先日、ひょっこり、東京在住のH子の母から便りもらった。「悪童時代の私の幼顔が思い出されて」との一節に、何か母親の愛情にも似た甘さを覚えた。何んでも83才と77才の老夫婦して、元気に娘のところへ遊びにやって来たのだという。

H子とは小学校が同級だった。その時以来だとすると40年に近い再会になるのだなと思いつら、丁度よい機会なので、無遠慮にも突然の訪問を思い立ち、あわたくし新大阪から上京した。

調布の家には、懐しい顔が待ち受けていた。H子は昔からとび抜けて美人でその上頭がよく、田舎にはめずらしくあか抜けていた。後年花のお江戸で、テレビのディレクターになったK君が、一緒に仕事する女優よりも彼女のイメージをべたほめしていたことが思い出される。歳月は彼女の人間味にみぎきをかけ、知性美あふるゝ主婦の顔がそこに見られた。

H子の父は、背が高い人で、高齢のいまでも背筋がシャンとしていて紳士然としていた。インテリの風貌と寡黙な人だったから、子供の頃は殆んど言葉を交わした記憶はなく、たゞたゞ畏敬の念で遠くから眺めていた様な気がする。しかし案に相違して、好々爺のあたゝかい顔であった。

H子の母は、いつも小ぎれいで、聡明な雰囲気の人だった。悪さをしてはよく叱られたものだ。反面近所の悪童共が不思議とH子に対するイタズラが少なかったのは、その聡明なまな差して「いけませんよ」とたしなめられそうなプレッシャーを感じていたのかも知れない。

よもやま話が応接間から食卓へと移り、心づくしのH子の手料理で鍋をつゝき合い、ウイスキーをグイグイと飲んでいると「しっかりね」というH子の母の声、ほろよりの耳に、なつかしい昔の近所のオバサンのものゝようにひびいた。帰り際、門のところで、寡黙なH子の父はほゝえみながら自ら私の手を握ってくれた。

1985 1986 役員 (Officers)

会長	山田 孝彦	会計監査	上月 英子
副会長	森 庄司	担当主事	田中 稔二
"	藤井 保男	幹 事	杉本 恭之助
書記	藤本 史郎	"	中村 隆幸
"	松本 常晃	"	山中 秀男
会計	浦野 啓一	直前会長	中村 隆幸

EDITOR'S NOTE 和井 壽 満のひとりごと

10月号ブリテンの聖句(日本語の分)1行目終りの“わたし、とあるのは”わし、のミスプリントでした。お詫びして訂正いたします。

年末近くなり12月号と新年号の編集を手際よくやらねばならないのだが、諸兄姉の積極的な寄稿を待つ。

(ブリテン 村田貞夫 〒659 芦屋市朝日ヶ丘町3-8-305)
(担当 TEL 0797-32-9204)